
悪き生徒会の陰謀と図書委員長の意図と...

白雪凜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪き生徒会の陰謀と図書委員長の意図と…

【Nコード】

N3291Z

【作者名】

白雪凜

【あらすじ】

藍川中学校は、いたって普通な中学校
だけど、それは表の顔
裏では先生たちも知らない、生徒会と各委員会のそれぞれの企みが
渦巻いている！？

学校内で繰り広げられる心理戦を描いた物語です

「副」繋がりの二人（前書き）

ミステリー物ですが、よくわからないと思います^^；

暇つぶしに見ていただければいいかなと思います^^ノシ

「副」繋がりの二人

とある日の放課後

蝉の声は、いつの間にか聞こえなくなってきた

夏が過ぎようとしていたのだ

その代わりに、秋の訪れを知らせる冷たい風が窓から吹いている

？「あーあ、つまんないなー」

一人、図書室でため息をつく図書委員

名前は、たかはらかな高原香奈

香奈「今日は、誰一人図書室にこないし…」

なのになんで、夕方の5時までまで開けなくちゃならないのよ」

？「客なら、一人来たぜ」

ただならぬ空気が漂った

香奈の表情が変わった

それは、周りに殺気を感じさせる様な表情でもあった

香奈「生徒会副会長が、図書室に何かご用でも？」

図書室に来たのは、生徒会副会長きんたけしゅんや如月瞬也だ

副会長なのだが、意外に言動がチャライ

瞬也「まあまあ、そう怖い顔しないでよ、副委員長さん
同じ、『副』繋がりなんだから」

香奈「本の貸し出しですか？」

瞬也「いいえ、実は…」

図書委員会さんに一冊の本を預かって貰いたくて、ここに来たんだけど」

香奈「私達、図書委員会は本の保管サービスは行っていませんので、生徒会執行部自身で保管して下さい」

瞬也「そんなに堅いことを言わずに〜お願い〜」

ね？それなりの品物は出すから」

香奈「物で釣ろうとしてるのですか？」

瞬也「気持ちの半分はな」

香奈はカウンターから出てきて、本棚にある本の整理をし始めた

香奈「どこまでも、卑怯なのですね

生徒会って」

瞬也「卑怯で結構です」

あと半分の気持ちは、お礼だ

まあ、『預かってくれたら』だが」

香奈「今日は委員長がいないので」

瞬也「即答だな

副委員長さんで決断は出来ないのか？」

香奈「委員会に関わる事の中で、重要な事は委員長が決めるので」

瞬也「真面目にやってたら、疲れるぞー」

香奈「別に構いません」

瞬也「とりあえず、明日も委員会がある事だし…
委員会後、またここに会長と来るよ」

香奈「分かりました、委員長に伝えておきます」

瞬也「Thank you
んじゃ、また」

瞬也は図書室を出て、走って、どこかに行ってしまった

図書室の窓からは、相変わらず冷たい風が吹いてくる

香奈の長く艶のある黒い髪は吹き荒れる

香奈「なんで…生徒会が…」

それが、すべての始まりだった

「副」繋がりの二人（後書き）

ルビ機能を初めて使ってみました^^

これからも、頑張って更新しようと思います^^ノシ

委員会後の話し合い（前書き）

初めて委員長が登場します^^

委員会後の話し合い

翌日

？「えー、今日の委員会はこれで終わりですが、何か質問がある方は、挙手を願います」

シーンとした図書室

昨日まで違う点は、全学年の図書委員が揃って、この図書室にいる事

そしてハキハキした声で、委員会を仕切る女子生徒は、図書委員会
の委員長である、藤咲玲子だ

玲子「質問が無いようなので、今日の委員会はこれにて終わりです
副委員長、終わりの挨拶をお願いします」

香奈「分かりました、起立」

香奈が号令を掛けると、続々と図書委員が椅子から立った

香奈「礼、ありがとうございました」

図書委員たち「ありがとうございました」

香奈「解散」

委員会が終わり、図書室は帰ろうとする生徒や部活に行こうとする
生徒たちの話し声でうるさくなっていた
ガヤガヤした図書室で、香奈はそっと言った

香奈「委員長、お話があるのですが…」

「ここでは話しにくいので、ちょっとよろしいでしょうか…?」

玲子「…?」

「分かりました、では準備室に行きましょう」

玲子は不思議に思いながらも、図書準備室の鍵を手に取り、廊下に出た

香奈「ありがとうございます」

香奈は丁寧に玲子に礼をした

窓の外では、空が曇ってきた

雨が降るのだろうか?

(今日、傘持ってきて無いんだよな…)

香奈はそう思いながらも、玲子と一緒に図書準備室へ向かった

委員会後の話し合い（後書き）

どう…でしたか？^^^；

図書準備室は、図書室を出て少し、廊下を歩いた所であり、
鍵は、図書委員長となった生徒が持てて、普段は職員室に保管され
ている設定です^^^；

ちなみに、図書室は2階にある設定です^^^ノシ

準備室の紅茶は冷めない(前書き)

生徒会会長が登場します^^ノシ

準備室の紅茶は冷めない

準備室

玲子「どうぞ」

玲子はニコツと丁寧に、紅茶を置いた

香奈「ありがとうございます」

玲子「今、レモンを切らしていて…
お砂糖だけでも大丈夫？」

香奈「大丈夫です」

ボソツと、玲子が言った

玲子「ここを開放しようかなあ…」

香奈「え!?!」

香奈は驚いた

準備室を開放するという発言は前代未聞だ

玲子「私ね、ここで紅茶とかを飲めるようにしたらいいんじゃないかな…?」
「って思ってるの」

香奈「準備室をカフェみたいにするって事ですか?」

(もし、本当にそんな事ができたら…)

これは図書委員会の歴史を変える出来事になるだろうな…)

玲子「そう

だけど…本が汚れてしまうから、出来ないんだけどね」

残念そうに玲子はニコツと微笑む

香奈「はあ…」

(この人は、いい意味で言ったら、サービス精神旺盛
悪い意味で言ったら…利益中心で動いているよう

つてぐらい、図書室の利用者の増加に力を注いでるんだよね…
たまーに腹黒い発言が出るけど、でも根はいい人なんだよね)

玲子「あ、ゴメンね

話が逸れちゃって」

香奈「いえ、大丈夫です」

玲子「それで…図書室で話せなかった話って？」

香奈「実は昨日、図書室に生徒会副会長が来たのですが…」

玲子「生徒会副会長？

生徒会がどんな用得図書室に？

珍しく、本を借りに？」

香奈「本を借りに来たのではなく

なんか、ある一冊の本を預かってほしいと…」

玲子「ほあー

で、報酬はあるの？」

香奈「え…？あ、はい

『預かってくれたら、それなりの品物を』と

玲子「ふーん」

玲子は一口、紅茶を飲んだ

玲子「その話は、断ったの？」

香奈「いえ、『委員長に伝えておきます』と言ったら、『委員会後に会長と一緒にまた訪ねる』と言いました」

玲子「分かった

わざわざ、ありがとうね」

香奈「いえ…」

ちょうどその時、準備室にノック音が響いた

コンコン

玲子「はい」

？「失礼します」

入ってきたのは、おそらく今日の本の貸し出し当番の図書委員だろう
名札に付けられている、「図書」と青い字で書かれている委員会バ
ツジが、光を反射しながら煌びやかに輝いている

図書委員「委員長、生徒会長と副会長が委員長に用があると、今、
図書室にいらっしやいますか…
どうしますか？」

玲子「準備室に連れて来てもらえないかしら？」

図書委員「分かりました
では、失礼しました」

戸が閉まり、準備室に静寂が包まれた

先に口を開いたのは玲子だった

玲子「香奈ちゃん、ちょっとお引き取り願えないかしら？」

香奈「分かりました
それでは、失礼します」

香奈は準備室を出て、廊下を歩いていると

香奈「あ…」

？「あら、こんにちは」

香奈「こんにちは」

ばったり会ったのは、生徒会会長相原麗香あいはられいであった
その後ろには、副会長の瞬也もいたが、気にしないようにした

おそらく二人は、準備室に向かうところだっただろう

麗香「委員長はもう中にいるかしら？」

香奈「はい」

麗香「そう…ありがとう」

香奈「いえ…」

（この人が会長かな…？
悪そうには見えないけど…
なんだか、不思議な人だな…）

一瞬、香奈はそう思ったが

香奈「まあ、いつか」

気にせず図書室に戻っていった

準備室の紅茶は冷めない(後書き)

第一章、3話めです^^

そろそろ、第二章に行く予定です^^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3291z/>

悪き生徒会の陰謀と図書委員長の意図と...

2011年12月11日15時59分発行